



2023年12月7日発行(第2号)



エクスポ★とうほく花便り

～東北地域国際園芸博覧会連絡会議等メールマガジン～



《トピックス》

1. 国際園芸博覧会における植物調達パートナー認定結果
2. 2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験(第1回)の秋植え作業を実施
3. 公式アンバサダーに芦田愛菜さんが就任！
4. 2023年ドーハ国際園芸博覧会情報
5. 東北ぷち情報
6. 編集後記



1. 国際園芸博覧会における植物調達パートナーに3団体が認定されました

2027年国際園芸博覧会は、半年間という期間で多品目かつ大量の植物を安定的に調達していく必要があるため、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会(以下「博覧会協会」という。)では、一定の基準を満たした事業者等を公募し、以下のとおり植物調達パートナーとして認定しました。

植物調達パートナー:住友林業緑化株式会社
全国花みどり協会(共同企業体)
一般社団法人日本植木協会
※50音順

- ◆2023年度植物調達パートナー認定結果↓↓

[ninteikekka_20231013.pdf \(expo2027yokohama.or.jp\)](https://expo2027yokohama.or.jp/ninteikekka_20231013.pdf)

- ◆植物調達パートナー認定制度について↓↓

[PowerPoint プレゼンテーション \(expo2027yokohama.or.jp\)](https://expo2027yokohama.or.jp/PowerPoint_Presentation)

- ◆植物調達パートナー認定制度実施要綱↓↓

[09_partner-sankoushiryou1_20230801.pdf \(expo2027yokohama.or.jp\)](https://expo2027yokohama.or.jp/09_partner-sankoushiryou1_20230801.pdf)



2. 第1回植栽試験の秋植え作業が実施されました

博覧会協会は、日本大学生物資源科学部と連携し、10月17日(火)に2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験(第1回)の秋植え作業を、日本大学内ほ場において実施しました。本試験には、企業や自治体等39団体から442品種の最新植物の出品応募がありました。

詳しくはこちら↓↓

◆[第1回植栽試験](#)



3. 公式アンバサダーに芦田愛菜さんが就任しました



2027年国際園芸博覧会の公式アンバサダーに俳優の芦田愛菜さんが就任しました。幅広い世代から支持され好感度抜群の芦田さんのアンバサダー就任で、博覧会の機運醸成にも弾みがつきますね。

◆[プレスリリース](#)

◆[アンバサダー紹介](#)



4. 2023 年ドーハ国際園芸博覧会が開催されています



現在、カタール国ドーハにおいて、2023 年ドーハ国際園芸博覧会が開催中です(2023.10.2～2024.3.28)。日本国屋内出展の様子をご紹介します。

◆[日本国屋内出展オープン](#)

◆[日本国内展示\(屋内\)メイン展示出展](#)



5. 東北ぷち情報



去る10月22日、宮城県において高校生花いけバトル宮城大会が開催されました。東北各地から選手たちが集い、香川県で行われる全国大会出場権をかけて、熱いバトルを繰り広げました！

◆詳しくはこちら↓

[花いけだより | 高校生花いけバトル \(hanaikebattle.com\)](https://hanaikebattle.com)

◆花いけバトルの様子はこちら↓

<https://youtu.be/T2nvdFmC4uY?si=HDG5BdLR9YWt28Uc>



6. 編集後記



消費者の花離れが叫ばれる昨今ですが、その傾向は特に50代未満の若年層に顕著に見られます。今年25歳になった私(♂)が職場で同世代を見渡してみても、花を日常的に購入している人はなかなかおりません。

昨年のある日、思い切って、花屋に行ったことのない友人と連れ立って花屋を訪れました。店にはじめて入った友人は、はじめこそ気恥ずかしさを隠すようにソワソワしていましたが、今ではすっかり花屋の常連だそうです。「自宅に花を飾っていないと寂しい」とまで言うようになりました。

花が好きな気持ちがあっても、購入するアクションまでたどり着かない人は多いということでしょう。暮らしの中に花を広めるためには、気軽に花に触れられる機会づくりこそ重要である、と感じた体験でした。

1990 年に大阪で花博が開催された9年後に、日本における切り花の一世帯あたり購入金額はピークを迎えました。2027 年の横浜においても、たくさんの人にみどりに触れてもらい、花業界にブームを巻き起こしたいですね。（ほ）

*本メールマガジンは花の日(8月7日)にちなみ、偶数月の7日に発行します。次回は2024年2月7日発行予定です。

—————

発行:東北農政局生産部園芸特産課花き担当

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1

TEL:022-221-6193

—————

◇このメールマガジンについて、シェア・ご登録をお願いいたします！！

ご登録はこちら↓↓↓

[東北地域国際園芸博覧会連絡会議等メーリングリスト:東北農政局 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)

◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方はこちら↓↓↓

touhoku_flower@maff.go.jp

◇配信停止をご希望される方はこちら↓↓↓

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/tokusan/231002.html>